

お詫びと訂正

前号, 第 55 卷 3 号に下記の脱落・誤植がありました。著者の皆様にご迷惑をおかけしました。お詫びして訂正いたします。

166 ページ右段最終行の下から：

脱落部分

研究所, 田辺市.
和歌山県農林水産総合技術センター水産試験場増養殖研究所 2006. 平成 17 年度養殖水産物ブランド・ニッポン推進対策事業（環境保全型養殖普及推進事業）報告書, 和歌山県農林水産総合技術センター水産試験場増養殖研究所, 田辺市.

(Received April 4, 2007; Accepted July 31, 2007)

172 ページ右段最終行の下から：

脱落部分

Yotsukura, N., Kawai, T., Kawashima, S., Ebata, H. & Ichimura, T. 2006. Nucleotide sequences diversity of the 5S rDNA spacer in the simple blade genera *Laminaria*, *Cymathaere* and *Kjellmaniella* (Laminariales, Phaeophyceae) from northern Japan. *Phycol. Res.* 54: 269–279.

229 ページ右段写真の説明文冒頭：

誤

正

海産緑藻ヘラヤハズ → 海産緑藻ヘライワズタ

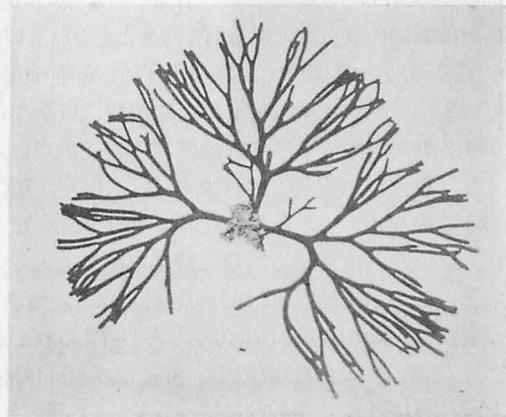


広辞苑のミル

本年 1 月 11 日, 岩波書店から「広辞苑第 6 版」が出版されました。1998 年の第 5 版から 10 年ぶりの大改訂ということで, 23 万項目の再検討と新たな 1 万項目の厳選・収録が行われたことが宣伝され, 報道もされています。しかし, その陰で動植物の挿絵も少なからず変更されていることはあまり知られていないようです。第 5 版までは, 博物画の巨匠 牧野四子吉 (1904–1983) が動植物や建築

物の大半の挿図を担当され, 藻類についてもミルなど少なくとも 8 点が掲載されていました。精緻な生物画で著名な牧野画伯は, ミルを描く際, その枝ぶりを正確に表現するため植物学の専門書を当たられ, おそらくは「分類植物学 上巻」(山田幸男・木村有香・本田正次 1935) の第 163 図 (写真) を参考資料として用いたものと推察されます。もしかするとこの標本は北大に保存されているかもしれません。第 5 版をお持ちの方は, どのようにデフォルメされているかご覧ください。今回, 第 6 版での海藻類の挿図の差し替えにあたり, 私も標本室に収蔵されているさく葉標本を参考にしてミルの絵を描いてみましたので, ご興味のある方は是非ご購入なさってください。6 月 30 日までは, 普通版が付録付き完成記念特別定価 7875 円 (税込み) でお求めになれるとのことです。 (編)

平たくて岩上に
匍ふもの等様々
であるが, 枝の
端は何れも袋状
になり, 柵状に
並んで體の表面
を作つてゐる。
石灰質は沈澱し
ない (第 163,
164 圖)。以上
の外, 尚 10 個内
外の屬が此處に
算へられる。



第 163 圖 *Codium fragile* SURING. (ミル) 縮小 [原圖]

山田・木村・本田著「分類植物学 上巻」(1935) 124 頁より

編集後記

前号本欄で出題した問題の答えは「8 頁」(正解者無し)でした。 (編)